

説明文の要旨をえらぼう

なまえ _____

小5／文章を読んで、筆者がいちばん伝えたいこと（要旨）を1つえらびましょう。

ひづけ _____

1 森林のはたらきを よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

森林は木材を生み出すだけの場所ではない。木々は根で土をつかんで山くずれを防ぎ、雨水をたくわえて川の流れを安定させる。さらに、二酸化炭素を吸収して空気をきれいに保つ。つまり森林は、わたしたちの生活を支える多くの役割を果たしているのである。

- 1 森林は木材を得るためだけにある。
- 2 森林はわたしたちの生活を支える多くの役割を果たしている。
- 3 森林は山くずれの原因になる。
- 4 森林は空気をよごしている。

2 情報とのつきあい方を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

インターネットを使えば、世界中の情報をすぐに手に入れられる。しかし、その中には正しくない情報もまじっている。だからわたしたちは、受け取った情報をそのまま信じるのではなく、本当に正しいかを確認する姿勢をもつことが大切だ。

- 1 インターネットの情報はすべて正しい。
- 2 情報は多ければ多いほどよい。
- 3 受け取った情報は正しいかを確認することが大切だ。
- 4 インターネットは使わないほうがよい。

3 食料と輸入を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

日本は多くの食料を外国からの輸入にたよっている。輸入があるおかげで、一年中さまざまな食べ物を口にできる。しかし、もし外国から食料が届かなくなれば、たちまち食たくはさびしくなる。自分たちの国で食料をつくる力を保つことは、これからの大きな課題である。

- 1 日本は食料を輸入にたよっていない。
- 2 外国の食料が届かなくても問題はない。
- 3 輸入があるので国内の生産は必要ない。
- 4 国内で食料をつくる力を保つことが大きな課題である。

4 生き物のつながりを よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

自然の中では、植物を草食動物が食べ、その草食動物を肉食動物が食べるという、食べる・食べられるの関係が鎖のようにつながっている。一つの種がへると、それを食べる動物も、食べられる植物も影響を受ける。生き物は、たがいに支え合って生きているのである。

- 1 生き物はたがいに関係なく生きている。
- 2 生き物はたがいに支え合って生きている。
- 3 肉食動物は植物を食べる。
- 4 一つの種がへっても他に影響はない。

🔍 いちごドリル プリント

説明文の要旨をえらぼう

なまえ _____

小5／文章を読んで、筆者がいちばん伝えたいこと（要旨）を1つえらびましょうひづけ _____

1 天気予報のしくみを よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

天気予報は、あてずっぽうで出されているわけではない。各地の気温・気圧・風・雲のようすといった大量のデータを集め、コンピューターで計算して、これからの空のようすを予想している。科学的な観測と計算の積み重ねが、毎日の予報を支えているのだ。

- 1 天気予報はあてずっぽうで出されている。
- 2 天気予報は科学的な観測と計算に支えられている。
- 3 天気予報にデータは使われていない。
- 4 天気予報は必ず当たる。

2 水を大切にを よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

じゃ口をひねればいつでも水が出るので、水はいくらでもあると思いがちだ。しかし、きれいな水を使えるようにするには、多くの手間と費用がかかっている。世界には水にこまる地域も多い。水は限りある大切な資源だと考えて、むだづかいをしない心がけがもとめられる。

- 1 水はいくらでもあるので気にしなくてよい。
- 2 水を使うのに手間や費用はかからない。
- 3 水は限りある資源で、むだづかいをしない心がけが必要だ。
- 4 世界に水でこまる地域はない。

3 道具と人の工夫を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

人は昔から、くらしを楽にするために道具を工夫してきた。石を打ち欠いた刃物から、金属の道具、そして電気で動く機械へと、道具は少しずつ進歩してきた。道具の進歩の歴史は、よりよいくらしを求めてきた人の工夫の歴史でもある。

- 1 道具は昔から少しも変わっていない。
- 2 道具の進歩は人の工夫の歴史でもある。
- 3 人は道具を工夫してこなかった。
- 4 電気の道具は石の道具より不便だ。

4 多数決の落とし穴を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

話し合いで決めるとき、多数決はよく使われる便利な方法だ。しかし、多い意見がいつも正しいとは限らず、少数の意見の中に大切な考えがふくまれていることもある。多数決の前に、少数の意見にもよく耳をかたむけることが必要である。

- 1 多数決で決めれば必ず正しい。
- 2 少数の意見は聞かなくてよい。
- 3 多数決の前に少数の意見にも耳をかたむけることが必要だ。
- 4 話し合いに多数決を使ってはいけない。

🔍 いちごドリル プリント

説明文の要旨をえらぼう

なまえ _____

小5／文章を読んで、筆者がいちばん伝えたいこと（要旨）を1つえらびましょう
ひづけ _____

1 外来種の問題を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

もともとその土地にいなかった生き物が、人の手で持ちこまれて野生化することがある。これを外来種という。外来種は、もともからいた生き物のえさや住みかをうばい、その地域の自然のつり合いをくずしてしまうことがある。身近な自然を守るには、生き物を勝手に放さないことが大切だ。

- 1 外来種は自然のつり合いをくずすことがある。
- 2 外来種はどんな場所でも役に立つ。
- 3 外来種はもともからいた生き物を助ける。
- 4 生き物はどこに放してもよい。

2 リサイクルの意味を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

使い終わったびんやかん、ペットボトルは、ごみとして捨てればそれで終わりだ。しかし、分けて出せば、とかしたりくんだりして新しい製品に生まれ変わる。限りある資源をくり返し使うリサイクルは、ごみをへらし、地球の資源を守ることにつながっている。

- 1 ごみは分けても生まれ変わらない。
- 2 リサイクルはごみをへらし資源を守ることにつながる。
- 3 資源はいくらでもあるので守る必要はない。
- 4 ペットボトルは一度しか使えない。

3 記録することの意味を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

見たことや考えたことは、時間がたつと少しずつわすれてしまう。しかし、書きとめておけば、後から読み返して思い出したり、人に伝えたりすることができる。記録することは、経験や考えを未来へ残すための、人の大切な知恵なのである。

- 1 記録しても後で役に立たない。
- 2 見たことは時間がたっても決してわすれない。
- 3 記録は経験や考えを未来へ残す大切な知恵である。
- 4 記録は人に伝えるのにじゃまになる。

4 助け合うまちを よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

地震や大雨などの災害が起きたとき、公的な助けがすぐに届かないことがある。そんなとき、近所の人どうしが声をかけ合い、たすけ合うことが多くの命を守ってきた。ふだんからのあいさつやつながりが、いざというときの大きな力になるのである。

- 1 災害のときは近所のつながりは役に立たない。
- 2 公的な助けはいつもすぐに届く。
- 3 あいさつやつながりは災害と関係がない。
- 4 ふだんの近所のつながりがいざというときの力になる。

🔍 いちごドリル プリント